

柿木図書館及び周辺施設の更新方法（素案）に関する アンケート結果について

【アンケートの概要】

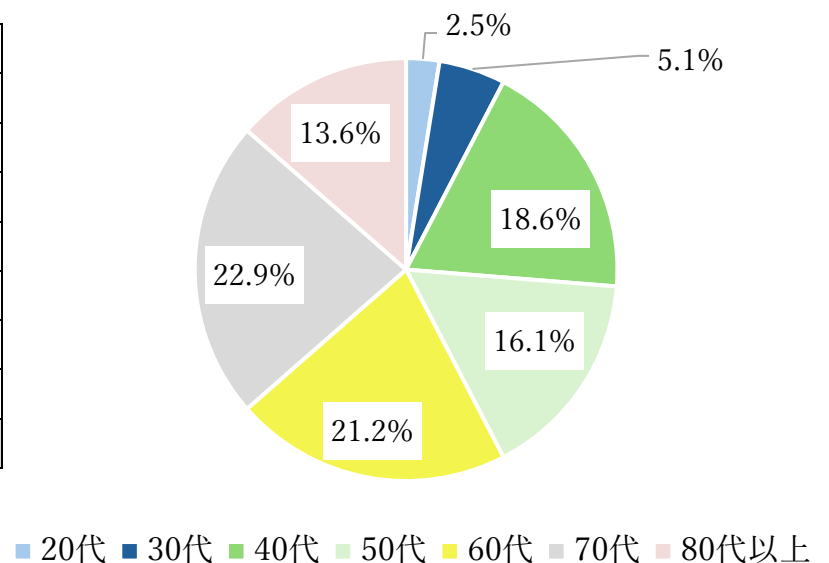
回答期間：令和8年7月28日(火)～8月23日(日)

回答方法：区ホームページ上のアンケートフォームから回答又はオープンハウスや対象施設等に設置したアンケート用紙で回答

回 答 数：118件（アンケートフォーム51件、紙67件）

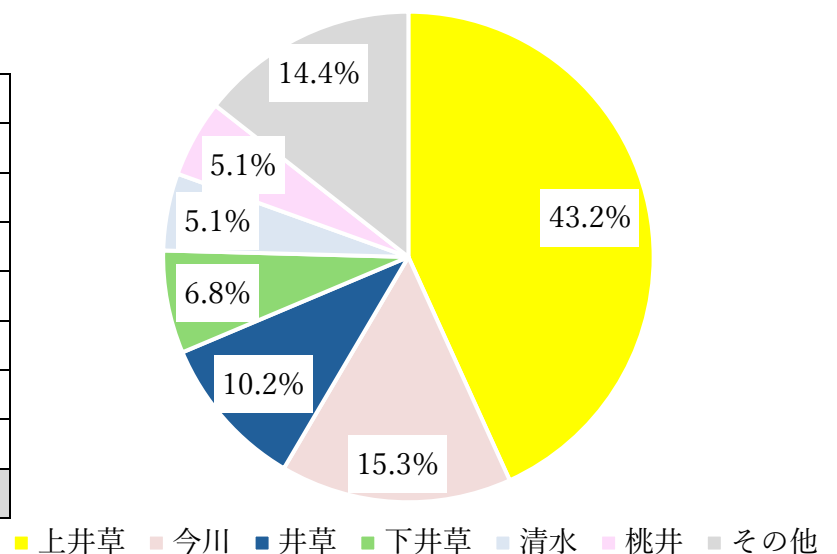
問1 年齢をお聞かせください

	人数（人）	割合（％）
20代	3	2.5%
30代	6	5.1%
40代	22	18.6%
50代	19	16.1%
60代	25	21.2%
70代	27	22.9%
80代以上	16	13.6%
合計	118	100%



問2 住所をお聞かせください

	人数（人）	割合（％）
上井草	51	43.2%
今川	18	15.3%
井草	12	10.2%
下井草	8	6.8%
清水	6	5.1%
桃井	6	5.1%
その他	17	14.4%
合計	118	100%

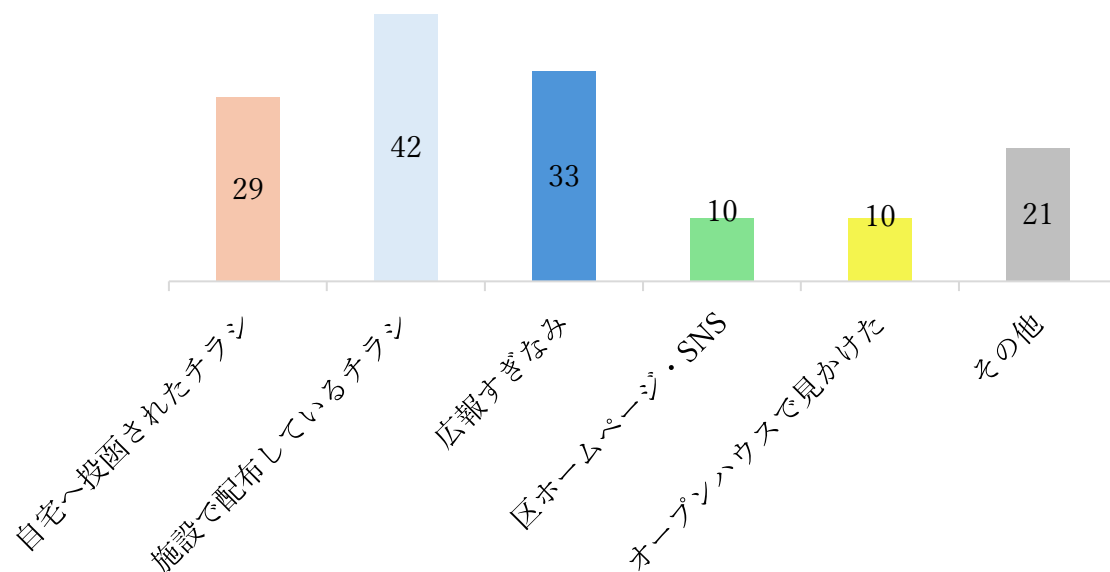


問3 この取組を知ったきっかけを教えてください（複数回答可）

	人数（人）
自宅へ投函されたチラシ	29
施設で配布しているチラシ	42
広報すぎなみ	33
区ホームページ・SNS	10
オープンハウスで見かけた	10
その他	21

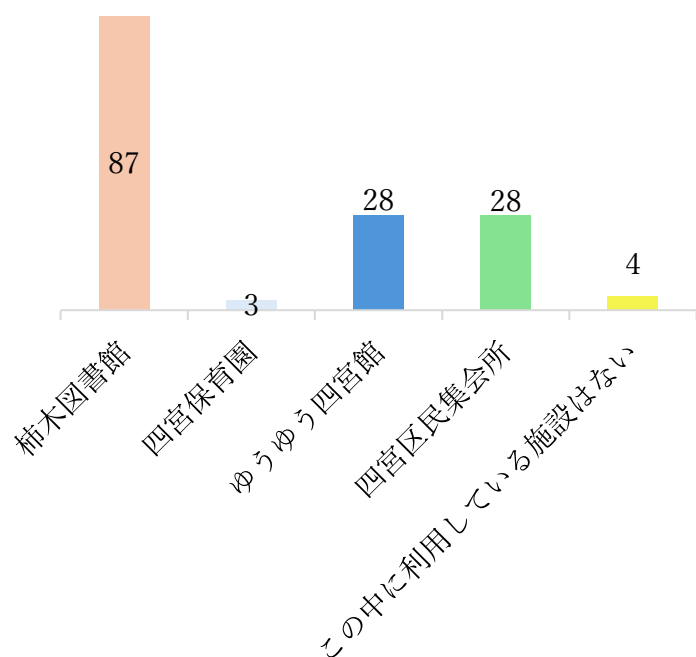
「その他」の具体的な内容（抜粋）

知人から聞いた
小学校の案内（TETORU）で知った
町会で情報共有があった



問4 主に利用している施設をお答えください（複数選択可）

	人数（人）
柿木図書館	87
四宮保育園	3
ゆうゆう四宮館	28
四宮区民集会所	28
利用している施設はない	4



問5 更新方法（素案）について評価できる点をお答えください（複数選択可）

		人数(人)
①	配置が変わらないため、利用者や近隣への影響が少ない	76
②	柿木図書館の休館期間が3年と、柿木図書館と四宮保育園の配置を入れ替える場合の6年よりも短くなる	63
③	柿木図書館の配置が変わらないため、緑に囲まれた静かな環境にある図書館を維持しやすい	68
④	四宮保育園・ゆうゆう四宮館と隣接する四宮区民集会所を併せて改築することで、これまでよりも広い部屋を確保できるなど、利用者ニーズの変化等に対応できる	52
⑤	コミュニティふらっとを整備することで、区民集会所を整備する場合と比べて、誰でも予約なしで自由に利用できるラウンジを広く確保できる	48
⑥	特になし	15
⑦	その他	0

問6 更新方法（素案）について気になる点をお答えください（複数選択可）

		人数(人)
①	四宮保育園の園庭が認可基準(204.6 m ²)の2倍程度(400 m ² 弱を想定)となるものの、現状(563 m ²)よりも小さくなる	18
②	四宮保育園の仮設園舎への移転が必要になる	28
③	図書館と集会施設を複合化しないため、集会施設のラウンジ等を図書館の閲覧スペースとして共有することができない	14
④	将来的な四宮区民集会所の改築も含めれば全体の費用は変わらないかもしれないが、今回の取組に限ってみれば、区民集会所を改築する分だけ費用が高くなる	15
⑤	コミュニティふらっとにおいても、貸室の無料利用や運営事業者による講座開催など、ゆうゆう館の機能は継承されるものの、高齢者専用の施設ではなくなる	22
⑥	特になし	60
⑦	その他	7

「その他」の内容

区民集会所の3年間の休館はつらいです。
他施設との複合整備から切り離れたにもかかわらず、最も費用のかかる図書館の改築（新築）をあくまで前提にしている点。
設計がはじまってから、建築に至るまでの期間が長いと思います。
子どもの安全、利用上のトラブルに関する問題対策について知りたい。
柿木図書館の外観がすごく好きです。新築そっくりさんの様に中身だけ改裝する事はできませんか？上記により、閉館期間が短くなる、コストが抑えられるなどのメリットがあるかと思います。ご一考していただけると幸いです。
ゆうゆう館と集会所を分けたほうが良いと思っていたので、残念です。
それぞれの工期。

問7 その他、ご意見等があればご記入ください。

対象施設の中で図書館が一番多く幅広い年齢層の方の利用があると思います。近隣に高齢者や重度障がい者も多く住んでいるため、段差、エレベーターなどのバリアフリーはもちろんのこと、多目的トイレ（阿佐ヶ谷区民センターのような大人用のおむつ替えベッド併設）の充実も希望します。
柿木図書館が閉まっている時にも、予約本の貸し出しが区民センターなどで、できるようにしてほしい。
どの施設も完成すればメリットはある。歴史や思い出に浸っていたら改築はできないので、未来を新しくしたいですね。先へ進むのは悪いことではないので前向きな説明や、明るい未来提示が必要。私は練馬区民ですが、杉並を中心に働いています。綺麗な施設が増えたら活気がでます。障害福祉にも関わってますが、保育園での障害児の受け入れや、柿の木バリアフリーは明るい未来が見えます。
コミュニティフラット形式が良いと思います。高円寺のふらっと杉八のような。
柿ノ木町の柿ノ木図書館が残れば満足。ありがとうございました。
柿の木図書館を今まで通りの場所、静かな環境で利用できれば他に言うことはありません。他の施設について、利用したことが無いので何かを言う立場にありません。
コミュニティふらっとは、結局高齢者が優先利用で、しかも無料で使え、日時をおさえてしまい、今、集会所でやっている子ども達の習い事は決まった曜日におさえることができなくなる。子どもは1ブロックでも遠いところは習い事に行かせるのは躊躇する。せっかく今、一生懸命取り組んでいる子どものそろばん教室（週3回開催）や空手教室は続けられなくなり、とても残念。まだまだ使える集会所を税金を使ってわざわざ壊すことはないです。そのまままだ使えるのに。
いつも柿木図書館を利用しています。 今回の改修工事の件は関心を寄せておりました。 たたき台2、とても良いと思います。移転せずに現地改修となりとても嬉しいです。
長年利用させていただいている柿木図書館を残してほしい。新しくする場合、パソコンもできる場所も増やしてほしいです。
休館中でも利用できる施設を紹介してほしい
たたき台2は賛成です。図書館をさらに便利にしてほしい。CDも置いてほしい。四宮保育園とゆうゆう館を改築するなら、防災拠点の要素も入れてほしい。絶対にほしい。
図書館と保育園は非常に古いとわかり、耐震、安全上または外装の美観から、利用者にとって限界を超えてしまっているのではと感じていました。今回の改築に当たっては、嬉しく思います。区内の同様の老朽化した施設についても迅速に対応していただきたいです。区税によって受けられる行政サービスに偏りが少なくなることを願っています。ご案内ありがとうございました。
丁寧に説明していただきありがとうございました。できるだけ周辺の自然環境を守りながらの建替えになることを望みます。
図書館と保育園を移転改築することに反対でしたので本当に安心いたしました。（私は図書館がどこかへ移動することは絶対に嫌でした） 住民の声をきちんと吸い上げ、こうして案にまとめて下さった事に感謝いたします。少し休館にはなりますが、同じ場所変わらない施設ができる安心感。今からとても楽しみです。

現在柿の木図書館は読書スペースや班学習等複数人数で話し合いながら作業可能な個室が今川図書館と比較して少ない点が改善されることを希望します。
①解体や建築に3年かかるという計画ですが、工期を1日でも短くできるように努力していただきたい。 ②図書の貸し出しや返却ができる図書サービスコーナーの設置を検討するとのことですが、現在の図書館の近くに必ず設置していただきたい。 ③現在図書館のまわりにある緑を可能な限り残していただきたい。 そのためには今の図書館の規模を変えず、あらたに加えるのはエレベーターくらいにとどめ、今のこじんまりした図書館のままにしていきたい。
今回たたき台2を素案として採用されたことに敬意を表します。この地域に生まれ育った者たちの対象施設についての深い思いを尊重して戴き、最良かつ最善の策を採用して戴いたと考えます。四宮区民集会所を町会活動の拠点として日々使用させて戴いている者として、3年の休館期間をどうしようかと考えていますが、井草地域区民センターやその他ご提供戴ける場を利用させて戴いて、何とか乗り切りたいと考えます。生じる支障が可能な限り最小化されるよう、ご支援・ご配慮を戴ければ幸いです。将来的なことや施設の効率化を考え、この不便さは敢えて甘受させて戴きたいと思います。私どもが役員として関わっている間は四宮区民集会所を使い続けられる方がよいのではないかとということも一瞬頭を過ぎりましたが、そのために将来世代に不便さを先送りすることは避けなくてはならないと思い返しました。付け加えさせて戴ければ、ワークショップでも申し上げましたが、四宮保育園の仮設園舎の場所を西武新宿線の線路の南側で探して戴ければ申し上げることは何もありません。いくらアナウンスされ承知の上で入園手続をされた方でも、実際に「開かずの踏切」という現実遭遇したときの不便さに耐えられるかは大いに疑問です。最悪の場合、事故が起きることを危惧します。この素案どおりに更新方法が決定されることを切に望みます。
コミュニティフラットの具体的なイメージ、運用が分からない。前回もアンケートを取ったと思うが、その結果が公表されてない。どういう意見が何件ぐらいあったかオープンすべきと思う。
新しい柿木図書館は、席と席との間を間仕切りした閲覧スペースを、出来る限り広くして貰いたい！今の柿木図書館は、近隣の下井草図書館や、今川図書館と比して、閲覧している雑誌数が極めて少ない。住民間の平等を大原則にして、出来る限り多数の雑誌を揃えて貰いたい！更に、職員のレベルも、下井草図書館や今川図書館に比べると相当劣るため、住民間平等の観点から、同じレベルのスタッフに総入れ替えして貰いたい。
集会施設、ラウンジ等を多く作る必要性を感じません。近辺に上井草スポーツセンターや、井草区民センターがあるからです。逆に、付近には学生はもちろん、大人も使える自習スペースがありません。中央図書館のような自習スペースがほしいです。図書館に併設されている形でなくても構いません。上井草付近では、塾に通わない子供たちが集まって毎日勉強する場などありません。そのような活動が行えるようにしてほしいです。
図書館は他の施設と併合して欲しくないのと、休館期間をできるだけ短くしてほしい
飲食のできるスペースを設置してほしい。
本格的改革は杉並区役所の組織変更からスタートすべき、まず中央の変革の上に建物やら組織の変更を考えるべき。発想が逆。

ゆうゆう館と区民集会所が一体化することで、エレベーターの設置等が望めてうれしいです。使い勝手は今までと変わりなく、利用時間等確保してくださるとのことです。安心していきます。

【素案について】区役所改築計画が具体的にになってきた中、区財政に余裕があるなら井草エリアにも予算を注ぎ込んで素晴らしい施設を作って欲しい 財政に余裕がなければ区民の理解を得て必要最低限の施設を作って欲しい 今までの区民の声を参考にして下さい 【ワークショップ オープンハウスについて】「良かった所」資料が見やすかった 事務局の対応が素晴らしい（電話対応も丁寧）オープンハウスも複数回、複数会場を企画するなど今までに無い区政の取組に感謝します たたき台に対するアンケート提出者が多かったように思う 「モヤモヤする所」たたき台3案決定や素案決定時の会議の議事録内容が知りたかった 区のイベントカレンダーにもオープンハウス開催をのせて欲しかった 区議会議員の視察が少なかったように思う 今後各々の施設でハード面ソフト面に対する区民との意見交換会を行なってもらいたい（ここから先が本当の対話の区政）【仮園舎 近隣施設との連携】仮園舎の候補地を他に探しているのか知りたい（本気度が区民に見えない）休館中の代替施設に四宮森児童館の活用も検討して欲しい 馬橋ふれあい図書室のように日曜日だけでも図書のやり取りが出来ると区民は便利 井草区民センターや近くのゆうゆう館に行くのが大変な高齢者の為にも午前中や夜間時間帯に四宮森児童館を使える方法も考えてほしい（学童クラブの校内移転推進も検討した上で条例変更や新たな合築施設の検討）【その他】保育園だけでなく建築基準法に問題が無いのなら温暖化対策としてコミュニティふらっとや図書館もタープが取り付け出来る設計にして欲しい（出来れば自動タープをテスト運用）今後の区立施設には簡易型ミストシャワー装置の予算をつけて欲しい 柿木図書館改築時には駐輪場にマンホールトイレを複数作って欲しい（四宮小学校が震災救援所なので）柿木図書館の樹木を多数残すのであれば図書館の屋上と連携した公園風の造りにして欲しい 柿木図書館の飲食スペースの設置に関しては要検討をお願いします 杉並区におけるマンガアニメに対する振興策として図書館に、より多くの蔵書が置けないか検討して欲しい（難しいのは理解している）図書館にマンガ等が置けないなら多文化交流やこどもの居場所としてコミュニティふらっとにマンガ等を多数置けないか検討して欲しい 自動販売機は屋外に設置した方が良いのではないかと（シート貼り等を行ない施設看板として活用 障害者団体への援助）巡回安全パトロールステーションがこのままだとコミュニティふらっとに残る事になると思うが地域バランスも考えて移転するチャンスだと思う 保育園園児が利用者のいない時コミュニティふらっとで遊べる事も出来る設計にして欲しい 【気になる事】なぜ一部の図書館や区立施設の学習コーナーに区民が殺到するのか再度検証してから区立施設を設計して下さい コミュニティふらっと四宮における中高生対応の割合が気になる（こどもの居場所）杉並区として今後ゆうゆう館をバランスよく残していくのか気になる

図書館にラウンジが出来るといいなと思います。

複合施設になれば色々な年代の人が利用することになり、いい関わりが出来る可能性もあるがちょとした配慮もお互いに必要になる。配慮が多岐に渡るため、係としての動きに多様化が求められる。その多様化への対応をバイトの方に求めるのは大変そう。建物が立派になっても運営する側の心構えによってはつまらないところになるかも。

それぞれの建蔽率容積率が示されていないので、わからないが、都市計画を緩和してでも、効率的効果的な区有施設に建て替えるべきと思う。強いていうなら、たたき台3の案がベターだと思う。図書館と集会施設は親和性が高い（スペースを共有できる）ので、容積率を見直して複合化すべき。現区民集会所の北側の梅林は取得できないのか？（区有地との交換は？） 図書館の閉館期間は、予約の貸し出しや返却を近隣の駅構内で可能とするなど調整すれば、閉鎖が長くなっても大丈夫だと思う。 人口が減少する未来の中、施設規模がそのままで良いのか、防災面での施設の有効性なども根拠に、さらにご検討をいただけたらと思う。
柿木図書館のカビ臭い館内は健康被害もあるはずです。改築にあたり、木造建築の図書館を希望します。
広い世代が利用できる工夫あふれる施設になるよう願います。井草森公園の旧ごみ中間積み替え施設の活用や四宮児童館、学童保育との連携や役割分担も考えて特色を出して欲しいです。 個人的な希望は、写真展を開けるギャラリースペースが欲しい。知人と年1回趣味の写真展を開いているのですが、近隣に適当な場所がないので、現在は練馬区の石神井公園ふるさと文化館を利用しています。1日1,000円ほどで利用できてとてもありがたいのですが、練馬区民ではないので優先予約が出来ず、希望の日程がなかなか取れず困っています。井草森公園かこのコミュニティふらっとのどちらかにそういうスペースが欲しいです。 図書館の改築に関しては、中央図書館というまでもなく、今川や下井草など新しい図書館は使いやすいです。ぜひ新しい形の図書館を期待しています。私がぜひ参考にして欲しいのが、瑞穂町立図書館です。とにかく居心地が良いのです。図書の配列が利用者本位で使いやすく、それは設計段階から考えられているものと思われます。無料のコーヒーサーバーがあるなど飲食ができます。瑞穂町は人口規模が違うから出来るのかもしれませんが、とにかく利用者本位の図書館でした。新柿木図書館にも新しい工夫を期待します。
単独改築になる柿木図書館であるが、現行の施設に不足している機能を十分確保すること。特に、調べ学習などが充分に出来る学びのスペース、ゆったりとした児童書のコーナー、交流や語らいと読書が施設内で共存できるゾーニング、障害者や乳幼児親子等でも安心して利用できるような動線と設備を含めた空間の確保のほか、地域の人誰でも気軽に立ち寄ることができて居場所としてもホッとできるような空間や集団学習・ミーティングが出来る複数のスペースの設置、地域情報の発信や受取りが容易にできる仕組みなどを必ず取り入れるよう求めたい。加えて、図書館員が働きやすいようスペースに余裕ある事務室を整備してあげて欲しい。また、敷地を最大限活用し、余裕持ったスペースを確保して、あまり施設を小さく作りこむようなことをしないことや、メンテをしやすいような施設・設備にして欲しい。
コミュニティふらっと新施設会館までの間、現ゆうゆう館の利用者への配慮を忘れず怠らずお願いしたい。工事期間中に於いて現受講者の代替稽古場の確保の御約束をお願いしたい。借賃は受講者にて負担します。宜しく願います。僅か数ヶ月の運動ブランクが、高齢者のフレイル及びサルコペニア化を早める要因となります。何卒何卒 御手配の程
中学生や高校生も勉強などで集える環境が欲しい。
四宮ゆうゆう館を利用させて頂いてます。今の利用はストレッチ、太極拳等身体健康と、認知予防の為今後も続けたく思ってますが、休館中の場所替えで、対応して頂きたく切にお願い致します。出来上がるまでは生きてるかどうか解りません、宜しく願います。

工事期間中の長い間にゆうゆう館での活動、運動などを出来る施設を確保してもらいたい
四宮保育園へのクレームの多さ（保護者の自転車運転に対するもの、スロープの撤去など）と仮設にかかる費用を考えると、現地での改築はベストとは言えない。柿木図書館の閉館期間は延びるが、長い目で見ればたった 6 年。それより先のこと、子どもたちの未来を優先して決めるべきだったのではないかと。正直、高齢者の方々は自分のことばかり考えてるのではと思わざるを得ない。
説明資料が、わかりにくい。説明資料をもう少しわかりやすくして下さい。開催日も土曜日、日曜日の夕方も入れて仕事している人も参加しやすくして下さい。
①新しい柿木図書館の閲覧、読書、自習スペースと席は、多めにとってほしい。②今までは雑誌閲覧コーナーの雑誌の種類数が他の図書館に比して、極めて少なかった為、最低でも下井草図書館並みの種類数は確保してほしい。③コミュニティルームは、会話等の音が漏れないように防音室にしなければトラブルになる！④大切な書籍や施設を汚損させたり、浮浪者が居つく為、図書館に飲食コーナーは不要である。
福祉施設の運営維持費用についても 10 年～30 年先の変化を推理すると同一程度以上にならないようにすべきと思うが。
施設を利用できなくなる 3 年間の代替施設への配慮をお願いしたいです。
5 月に実施されたアンケートのことは全く知らなかった。近隣に住んでいるのに今回ポスティングされたチラシで初めて知りました。ポスティングも本当に近くの家にはされていないのはどうなのかと思う。
あらゆる方面から検討してくださりありがとうございます。
【施設整備】有料化も含めたロッカーの貸出の検討を考えてほしい（利用ルールは違うが一部の区民センターゆうゆう館及びゆう杉並すべての子育てプラザに無料ロッカーがあると認識）給水機ではなく冷水機を設置して欲しい（給水機だと涼み処利用時に施設管理者に手間を取らせてしまう）どうしても給水機完備したいのならば永福図書館にある冷給水機能一体機を標準化にして欲しい コミュニティふらっとのラウンジ設計は要検討をお願いします（各コミュニティふらっとの生の意見の収集や現場視察）【コミュニティふらっと】コミュニティふらっと四宮にて本当にゆうゆう館並みの声掛けや見守りが出来るのか不安 ゆうゆう館並みの声掛けや見守りがあるとコミュニティふらっとの良さがなくなるのではないかと不安 コミュニティふらっとでどの様に高齢者を判断するのか知りたい 諸室の数は旧杉並中継所跡地活用施設や図書館の多目的ホールの数や広さとのバランスをみて要検討をお願いします 井草エリアのコミュニティふらっとにもドラムセットのある部屋が欲しい 【図書館】緑を多く残すのか、図書館機能に付加価値をつける為に敷地を最大活用するのか知りたい 学びのプラットフォームによる学校図書室の活用や他区立施設への図書コーナー設置などにより蔵書に触れ合う機会を増やして欲しい（以前は区民センターや児童館にもそれなりの蔵書があったと認識）図書館機能に付加価値を付けるなら予算取り期待しています（他自治体が視察に来るくらいの施設に）【その他】ワークショップ等にも参加したが多文化共生からの視点や外国籍障害のある方々の意見を充分反映出来なかったと思う（ワークショップ参加者にも情報共有出来ていたか不明）もう少し西武線北側の区民の意見を聞く機会を作るべきだったのではないかとと思う（そもそも今回の改築を知らないのでは？）
今後の具体案（プラン）に期待します。よろしくをお願いします。

柿木図書館を愛用されている友人から聞きました。場所を移転せずに住民の方々の意向が反映された着地点にほっとしました。また、ご丁寧な説明をありがとうございました。とても良く理解ができました。このことだけではありませんが、他区に比較し、施設の利用料金が杉並は高いようです。値下げもしていただけるようですが、区民の利用活性のためにもっと値下げしていただけると嬉しいです。
中央図書館の居心地が大好きです。かたや、下井草図書館は全く落ち着きません。柿木は古いけど居心地がいいです。「居心地」は建物次第（当たり前ですけど）。新しい・古いは関係ないのが実感です。お金をかけても失敗するときは失敗します。良い設計プランを期待しています。
区民集会所よりも小規模の空き家活用施設を使って仮図書館機能の補助にできないでしょうか。区民として上記のような施設整備に参加できないかと考えています。
図書館について、3年という機能停止期間はあまりにも長い。賃借のみでもいいので、臨時サービスの施設を提供してほしい。 保育園について、集会所と一緒にすることで児童のプライバシーが脅かされないように最大限配慮してほしい。 集会所について、多様な市民が利用することでトラブルが今までより発生しやすくなる。責任をもって対応できる事業者に委任してほしい。
改良して現地に残してほしい。4・5は利用したことがないのでわかりません。下井草、今川は清水からは不便です。自転車を利用しない者には本をもって歩いてゆくのはつらい。柿木は出先で時間に追われてもバスに乗ってこられる（清水3のバス停が近いです）。
柿木図書館を同じ環境で継承できることは、ほんとうによかったです、ありがとうございます。新たな図書館には、会議スペース、お茶のみスペースをぜひ加えてほしい。さらに、みなさんに親しまれる図書館になってほしい。 新たなコミュニティふらっとも、ゆうゆう館のような、あたたかく人を迎える雰囲気을大事にしてほしい。
気功ストレッチ教室の教室場所の確保をしてください。
図書館の休館期間が1か月でも2か月でも短くなるとありがたいです。本の貸出返却という機能だけでなく「場」に通っているのです。設計次第で期間が決まるとのお話をお聴きしました。シンプルなこれまで通りの図書館とし、工期も短めになると良いと思っています。たくさんの取組ありがとうございます。
四宮区民集会所は、新しい施設になり魅力的な施設になることを希望する。
まさか保育園を仮設にするとは思わなかった。コミュニティふらっとは多世代向けと言いながら高齢者が優遇されているのは腑に落ちない。その地に住み続けて（つまり高齢者？）長年通っているから図書館は移転してほしくないという地元民の声が優先されるのもやはり高齢者優遇なのでは？若い世代に対する配慮はどこへ？習い事やサークル活動で定期的に部屋を利用したい人への配慮も考えてほしい。
コミュニティふらっとは高齢者優先で予約を取れ、無料で使えるのは不平等。子どもの習い事で集会所を使っている私たちは予約が取りづらくなる。それはどうするのか。高齢者が先に半年分予約を押さえてしまうのはおかしい（しかも無料）。集会所は絶対になくしてはダメ。子供を大事にして。

この素案のまま進んでいただけることを強く願っております。図書館はこの地で大切に守り続けたい施設です。保育園と入れ替える案に戻ることはないようお願いしたいです。

現在使用している会場と同様なレッスンが続けられる場所をお願いします。

図書館と集会施設に大人と小さい子たちだけでなく、小中学生の放課後の居場所になるようなフリースペースを併設してほしい。

5 月 16 日のオープンハウスにも参加してアンケート回答しました。それから 3 ヶ月。図書館の休館期間が長く、かつ利便性がさして上がらず、最も費用を要する「たたき台 3」を素案として採用しなかったことをまずは評価します。ただ、最有力候補である「2」と次点の「1」のいずれもが、図書館の現在の建物を解体して事実上「新築」する「改築」であることへの疑念は消えません。せっかく集会施設や保育園の整備と切り離したのですから、図書館建築に関しては一度立ち止まって基本計画を見直し、コスト削減も図るべきです。前回、建物の耐震診断の報告書を見せて欲しい旨求めましたが、公開していない由のお答えでした。報告書は本当にあるのでしょうか。現時点で築 60 年を経っていますが、区の公共建築物全体の耐震性評価をした当時、旧耐震で古いことを根拠にろくに調べもせずに「老朽化している」と決めつけたのではないのでしょうか。確かに設備や使い勝手は古くなっていますが、躯体の構造そのものは極めて堅牢な RC 造であると日々利用している私は考えます。おそらく現在の施工技術、建築基準では再現できない RC 造建築物であり、帯筋の課題はあります（鉄板を巻けば済む話です）が、耐震性は十分にあると推測します。また、中性化深度や骨密度、鉄筋のかぶり厚、クラックの有無などを調べれば分かるはずですが、コンクリートの質は極めて高いと思われ、そのために解体工事は難航、高騰化すると思います。配管やトイレなどの水回りや機械設備は更新可能であり、EV も全階停止を求めずに地上と 2 階ベランダをつなぐだけの外部増設工事であればさして費用をかけずにできるはずです。図書館機能の陳腐化は、中央図書館改修も含めた区全体の図書館利用計画の中で考えるべきことであり、現在の機能保持を前提とせずに、幼児や児童書に特化した開架スペースとキッズコーナー、新聞や区資料の閲覧や図書貸出予約コーナーの整備・拡大くらいに絞り込み（地下階の講義室は区民センターに移設など）、2 階西側の仮 3 階は上井草 1 丁目に向けたコンパクトな防災倉庫とするくらいの用途の切り替えを考えるべきだと思います。22 日の神田川・善福寺川の氾濫警報や夜半の震度 4 の地震を体験すると、特に防災倉庫整備は喫緊の課題だと思います。上井草 1 丁目の北側の線路沿いは井草川（妙正寺川支流）沿いの低地でかつて内水氾濫を起こしたこともあり、広域避難場所に指定されている井草の森公園は線路の反対側で川をまたぐ位置にあり、内水氾濫時の避難は困難と思われます。一方、図書館の敷地は 1 丁目の中では最も標高の高い台地上にあり、このエリアで最も安全で避難するには打って付けの場所です。避難時に学校機能との調整が必要になる一時避難場所指定の四宮小学校よりも安全性は高いと思います。以上の理由から、短期間・低コストで可能な上記の改修を検討せずに解体・新築を前提とする「たたき台 2」で税金を費やす意味がどれだけあるのか。保育園・集会施設整備の計画と切り離したうえでも来春に基本設計を発注するスケジュールを変えられないのはなぜなのか。年内予定のパブコメ募集の際にはより説得力のある資料開示や説明が必要だと思います。大規模なモノからコンパクトなモノまで、今、図書館建築はすごいスピードで進歩・変化しています。既存建築物を資源とする再活用も盛んです。柿木図書館の再整備が「さすがは杉並区だ」と評価されるようなコンパクトプロジェクトとなることを近隣住民として切に期待しています。

図書館のコンセプトがどのような用途（部屋、スペース）か決まった段階で再度オープンハウスをしてほしい。
柿木図書館が休館している間、柿木図書館の蔵書はどこで保管するのか。休館中に下井草図書館受取で、柿木の蔵書を予約した場合、約何日（何営業日）で下井草に届くのか。取り壊した跡地に返却スペースを用意してほしい。
今利用している施設の代わりの場所を確保する提案がないのが不満です。代替場所がない場合、長期にわたり運動することができなくなるので、それは絶対に避けてほしいです。
土木設計にあたり、グリーンインフラの観点も考慮いただきたいです（雨水が貯留できるようにコンクリート部分を少しでも減らす等）。Section 2「更新方法（素案）」のところで（５）「運営事業者による、（中略）温かみ感じられる対応」が求められていることがわかりました。コミュニティふらっとは実績のある事業者さんに委託ということであまり心配はしていませんが、事業者さんにそのようなニーズがあることをご理解いただき、区民と関係性を構築できる運営をしていただけるようお願いしたいのと、開設後も機会を設けていただきたいです。また、図書館は直営のままでお願いしたいです（なんとなくですが公共政策出身なので）。今回の柿木図書館の話に限った話ではなくて恐縮ですが、図書館の司書さんなど、専門人材に関しては正規雇用化を進めていただきたいです。再雇用回数上限 5 回を撤廃いただいたことはすばらしいですが、より根本的な問題解決を求めています。国が人員削減率を K P I にしていることは理解していますが、ここは人件費削減すべきところではなく、むしろ税金を使っていただきたいところです。どの図書館のスタッフさんも対応が親切で感謝しています。改修について区民の意見を反映してくださる区の職員さんありがとうございます。
私は 5 月の意見聴取の際にたたき台 3 を支持しましたが、今回たたき台 2 が採用されたとのことです。案自体の賛否については意見を申し上げます。今回は、たたき台 2 を採用するにあたって意見を書かせてもらいます。本題に入る前に、一言申しあげます。先日オープンハウスに参加し、直接職員と意見交換を致しました。こうしてほしいと意見を申しあげましたが、結論から言いますと施設利用者への配慮に欠ける残念な応答でした。できない理由ばかりを語られ、こちらの意見を取り入れようとの意欲が感じられませんでした。こちらわざわざ時間を作ってきているので、姿勢については改めてほしいと思います。（こちら全部の意見が通ると思っておりませんし、そんなことは求めておりませんので）それでは本題に入ります。1. 柿木図書館の閉館中の臨時の返却・貸出窓口として井草地域区民センターが候補であるとお聞きしました。素案では検討と記載されていますが設置してもらいますよう求めます。（本当は環八を渡らない場所が望ましいです）2. 柿木図書館で勉強をしていた子どもたちの勉強スペースを確保してほしいです。聞いたところ、井草地域区民センター及び四宮区民集会所が候補であるとの事でした。柿木図書館が使えなくなることによって利用が増えることも想定した場所の確保が必要だと思います。臨時のスペースを作る・パーティション等の仕切りを付ける・応接用の座高の低い椅子・机で勉強をやることのないようにする等、勉強環境の整備を求めます。また、周知も併せてお願いします。（近隣の小学校・中学校）3. 想定される柿木図書館は 2F で地下は作らないと聞きました。そうなりますと、建物を現状より横に広げなければ施設の広さを確保できないこととなります。懸念されるのは樹木をどうするかですが、施設の広さを優先してほしいと思います。本の貯蔵量や勉強／キッズスペース・レクリエーションルームの充実を求めます。4. 仮設園を建てる場所ですが、仮設園を撤去した後はどうするのか聞きましたが、公園として復旧するか検討していると

の事でした。あの場所は西武線の立体交差事業で使用する場所なので、無理にもとに戻そうとせず空き地として置いておく方が良いと思います。（費用が無駄になる可能性があるため）5.素案のQAの中に「新しい柿木図書館の整備に当たっては～飲食できるスペースを設置することなどを検討」と記載されてますが、飲食は本を傷つける可能性があり、慎重であるべきだと思います。（水分補給等は除く）このQAが中央図書館のようなカフェを併設するという意味なら、図書館の本来の機能（学びの場）を優先してほしいです。以上の点を今後の施設設計や機能維持の課題について議論される際に論点に入れていただきますよう、よろしくお願いします。
特にゆうゆう館の改築期間中に、利用者団体の活動がスムーズに継続できることを強く希望します。そのための代替施設や利用手続き等に問題が生じないように事前の代替プランをしっかりと作成して、関係者と利用団体にしっかりと周知徹底してください。
現在の柿木図書館を新規改築の必要はなく、現状のまま運営されるようお願いしたい。新たな空間が必要ならば増改築を考慮すべきです。今柿木図書館に必要なのは改築ではなく、備えるべき図書の更新です。特に時代物の文庫本（特に全集）は整理すべき時期が来ていると思います。柿木図書館は武蔵野の野趣に囲まれた杉並区の名物図書館です。新規改築より愛好家は保存の価値ありと考えています。
たたき台1でなかったのが残念です。
「コミュニティふらっと」を整備するという表現がありますが、「コミュニティふらっと」の機能と利用方法の具体的なイメージが持てません。もう少し具体的な機能の説明がほしいところです。
ゆうゆう館を利用している人たちの代替の場所をぜひ確保していただきたいと思います。
改築中にゆうゆう館に代わる場所を希望します。保育園と併設するとか、区内で空き室を借りるとかできませんか？
ゆうゆう四宮館を閉じている期間にグループ活動（気功ストレッチ）の借り場所を提供してほしいと思います。
保育園はなるべく今より不便にならないようにしてほしい。図書の貸出・返却ができる図書サービスコーナーを近隣に設置してくれれば、多少の不便は問題ない。
替わる場所を考えてほしい。
なんとか新築ができるまで四宮館の講座をどこかでできるようにしてほしい（協働事業の場所を確保してほしい）。
団体の活動でいつも利用させていただいており、とても快適に利用させていただいています。
コミュニティふらっとに整備されることは良いと思うが、部屋など使用する利用者が平等に利用できるシステムにしてほしいと思う。
みんなのためにがんばってください。
極力、休館の期間は短くしてほしい。マンガ（アニメ系）を置いてほしい（例 はたらく細胞）。
区で保護されてる木でも病気、倒木の危険により切られてることを見ていると仕方ないと思いつつ、そこに木を植えるなど緑化に対して検討されてたら嬉しいです。また、そんなに行っていない図書館のアンケートですが、参加することにより区民としての意識がほんのちょっと良くなった気がします。実施してくださりありがとうございます。